

没後40年 中間冊夫展 ヒューマニズムの軌跡

2025年12月8日(月)～2026年3月1日(日)

〈趣旨〉

南さつま市出身の画家・中間冊夫は、一貫して人間を題材とし、ありのままの人間の姿やその心情を重厚なマチエールとデフォルメされたフォルム、色彩によって表現しました。

鹿児島県出身者では海老原喜之助に次いで独立美術協会の会員に迎えられ、戦後を代表する画家の一人でありながら、東京を拠点に活動したこともあり県内では知る人ぞ知る作家となっています。

本展では、身体表現の変遷を中心に、その画業を振り返ります。年代ごとに身体フォルムやマチエールの質感を変化させていきながら、人間の存在の重み、ひいては内面世界の表現まで踏み込んでいった、中間の表現探求の軌跡をたどります。あわせて、生涯にわたり心を寄せた故郷とのつながりがうかがえる作品を展示いたします。

没後40年の節目に、いかなる時代においても変わらない人間存在の重み、また様々な心の動きを象徴的に表現した中間作品の魅力をぜひ味わってください。

〈基本情報〉

名称：没後40年 中間冊夫展 ヒューマニズムの軌跡

会期：2025年12月8日(月)～2026年3月1日(日)

(前期：2025年12月8日(月)～2026年1月15日(木)、後期：2026年1月18日(日)～3月1日(日))

開館時間：午前10時～午後4時30分

休館日：水曜日、12/24～1/4、1/16、1/17

会場：三宅美術館

入館料：一般500円、障害者手帳100円、高校生以下無料

〈お問い合わせ〉

三宅美術館

〒891-0141 鹿児島市谷山中央1-4319-4

TEL 099-266-0066 / FAX 099-266-0086

Mail mail@miyake-art.com

公式HP <https://www.miyake-art.com/>

担当：有村葉月、三宅環